

バークレイズ・ピーエルシー、バークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド （「BAGL」）保有株の売却提案に関する案内を公表

バークレイズ・ピーエルシー（「バークレイズ」）は2016年3月1日、一連の戦略的施策の一環として、必要とされる当局と株主の承認を得た上で、今後2、3年をかけてBAGLに対する62%の持分を会計上、規制上の観点から非連結化できる水準まで売却する方針を発表しました。

バークレイズは提案している持分削減の実行に向け、戦略面と資本市場動向の双方に照らして様々な選択肢の検討を継続しています。このプロセスの一環として、また、資本市場取引（下記の通り、「市場での売却」）を実行するための柔軟性を確保するため、4月28日、バークレイズは2016年年次株主総会后直ちにバークレイズ総会を開催し、BAGLの会計上の非連結化につながる係る取引を事前に承認することを株主に求めます。バークレイズがBAGLに対する支配権を喪失する取引（「非連結化取引」）が行われた時点で成立するとみられる会計上の非連結化は、上場規則によりクラス1取引としてバークレイズ株主の承認を得ることが義務付けられています。

市場での売却はヨハネスブルク証券取引所（JSE）の規定に従い、JSEリミテッドの株式売買システムの中央オーダーブックを介した取引（取引前にカウンターパーティは明らかにされず、価格は同システム上の実勢市場価格を参照して決定されます）、一括買取り、あるいはより大規模な市場での売却の場合には短期ブックビルディング方式による募集を通じて実行されます。バークレイズが非連結化取引に相当しない保有株の売却を実施する場合には、株主の承認は必要としません。

本日、株主総会招集通知を記した案内（「案内」）が株主に送られました。案内には、バークレイズの最新業況の簡単な説明（上場規程に従って後述）とともに、株主に承認を求める売却権限に関する詳細が記載されています。また、提案されている売却の権限を承認することを株主に促す取締役会の全会一致の勧告も記載されています。

最新業況

バークレイズは高水準の株主資本利益率を達成し、株主還元を実現するために引き続きノンコア資産の早期圧縮、コア事業であるバークレイズUKおよびバークレイズ・コーポレート&インターナショナル両部門の持続的な進展に注力します。バークレイズの2015年度決算発表時の説明通り、2016年度第1四半期のノンコア部門収益は、教育・社会的住宅供給・地方自治体（ESHLA）ポートフォリオの公正価値の持続的なスプレッド拡大の影響を主因に、それまでの四半期と比べて一段と悪化する見通しです。バークレイズのインベストメント・バンキング事業における1月と2月の収益は前年同期比で概ね横ばいでした。しかし、インベストメント・バンキングを取り巻く現下の市場環境や2015年3月の実績がとりわけ好調だったことを踏まえ、バークレイズ取締役会は、今年度第1四半期全体ではインベストメント・バンキング事業の業績はさほどではないという見通しを持っています。バークレイズは2016年度第1四半期決算を2016年4月27日に発表する予定です。

バークレイズが規制上の非連結化に向けて保有するBAGL株を減らす意向を発表した件に関連し、バークレイズ・インベストメント・バンク、シティグループ、J.P.モルガン・カザノブはバークレイズに協力しています。

インベスター・リレーションズ
キャサリン・マグレランド
+44 (0) 20 7116 4943

メディア・リレーションズ
トム・ホスキン
+44 (0) 20 7116 6927

案内の写しは当社のウェブサイト、home.barclays/gmからダウンロードすることができます。また、同文書は国立情報集積制度にも提出されており、<http://www.morningstar.co.uk/uk/NSM>で縦覧に供されています。

以下翻訳略

バークレイズについて

バークレイズは、英国、米国に主要拠点とし、個人、法人、投資銀行、クレジットカード、資産管理といった業務を提供する金融機関です。

325年以上の歴史と銀行としての専門性を備えたバークレイズは、40カ国で約13万人もの従業員を擁しています。世界中のお客様に、為替、融資、投資、資産管理などのサービスを提供しています。

より詳細な情報は、グループのウェブサイト <http://www.barclays.com> をご参照ください。

本稿は、バークレイズ・グループが2016年4月6日に発表した英文、“Publication of circular relating to the proposed sell down of shares in Barclays Africa Group Limited (“BAGL”)”の日本語訳です。その正確な内容につきましては、原文である英文リリースをご参照ください。本稿と原文において齟齬がある場合には原文が優先します。リリース原文は <http://barclays.com/> のニュースセクションでご覧いただけます。